

ウェルネス、サステナビリティの 取り組みをグローバルで 加速します

サステナビリティ担当役員
森島 千佳



「食と健康の課題解決企業」を目指す味の素グループにおいて、「栄養」課題への取り組みは、SDGs達成への貢献のみならず、成長戦略の中核といえます。強みでありユニークネスでもあるアミノ酸のはたらきを活用し「減塩」や「たんぱく質摂取促進」等の栄養課題に取り組み健康寿命の延伸に貢献します。また、栄養プロファイリングシステムの導入による栄養価値の視える化も図り、栄養改善の取り組みをグローバルに加速していきます。

環境課題においては、気候変動への対応として脱炭素経営に向けたアクションを着実に進めていきます。サステナ

ビリティ推進体制を強化し、国・地域と連携して味の素グループ全体で温室効果ガス削減目標に取り組みます。また資源循環型社会の実現に向け、2030年度プラスチック廃棄物ゼロ化の目標達成を全社プロジェクトとして強力に推進します。

ウェルネス、サステナビリティの取り組みはまさにASVそのものです。ステークホルダーの期待に応える情報開示を一層強化するとともに、全員が「自分ごと化」し、推進の原動力となるべく、従業員の「栄養」「環境」に関するリテラシー向上にも積極的に取り組みます。

サステナビリティ推進体制

2020年4月にサステナビリティの推進体制を強化すべくサステナビリティ推進部を新設しました。これまで社内でタスクフォースを組んで進めていた、栄養・環境（気候変動、資源循環型社会構築等）・社会（アニマルウェルフェア等）をテーマとする方針および戦略の策定は、サステナビリティ推進部で行います。また、事業計画へのサステナビリティ視点織り込みのための提言および実現に向けた施策のフォロー、ESGに関する社内情報のとりまとめも行い、経営会議および取締役会に報告します。

▶ 詳しくは「サステナビリティデータブック2020」をご覧ください。
<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/databook.html>

